

関西学院大学リポジトリについて

関西学院大学図書館運営課
安本裕和

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会 研究会

本日の報告の内容

- 機関リポジトリの構築経過
- 機関リポジトリ運用の現状と問題点
- 今後構築をする機関へのアドバイス

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

最初にお断り

本学のリポジトリは
先進的でもユニークでもないのですみません

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会 研究会

構築経過1

- 1995年頃から電子図書館の検討
(検討だけ。予算が付かないので実体なし。)
- 当時考えていたこと
- 資料の電子化
 - 手続きの電子化(非来館サービス)
 - 横断検索
 - デジタル資料の利用窓口

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

構築経過 2

2000～2002年 副館長の提案

- 外部機関との連携
- 教育・研究との連携

しかし、図書館員の頭は固くついていけなかった
また 新たなことに予算が付く状況でもなかった

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

構築経過3

2002年 事務・図書システム再構築

- 汎用機システム→オープン系システム
- 図書館は平和な生活を実現
 - 事務系はトラブル頻発 何とかしないと

関学全体に
システムの遅れ PC数不足 キャンパスごとの
不整合等々の問題点があった

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

構築経過4

2004年 全学の情報環境整備事業

- コンサル業者を使って問題点整理、対応策提言
- 検討過程で全学へヒアリング
 - 図書館にも 図書館の考えを説明
- 2004年秋 報告書を提出
- 2005年3月 報告書を承認
 - 提言された施策を実行せよ

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

構築経過5

2005年 大学と図書館へ実施計画策定の指示

- 実施計画策定WG(副学長のもとに8名の教職員)
- 2005年12月 実施計画案
 - ・大学の施策として機関リポジトリ構築
 - ・できれば研究業績データベースと一体となったもの
- 2006年3月 実施計画案を承認

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

構築経過6

・2006年 実施(構築)へ

- 実施(構築)委員会 副学長と関係部局の責任者
- 実施(構築)WG 関係部局の職員数名

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

構築経過7

- ・2007年7月 仮運用開始
- ・2007年10月 本運用
 - 広報(案内メール アンケート 説明会 パンフレット WEBサイト)
 - コンテンツ収集策検討・実施
 - ・個別説明・依頼
 - ・学内紀要の電子ジャーナル化の提案

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

現状と問題点1

関西学院大学において作成された電子的な学術研究成果を収集し、恒久的に蓄積・保存し、学内外に無償で発信するシステム

- 登録対象 . . . 以下の要件を満たす学術研究成果物
- (1) 学術的な研究成果であること。
 - (2) 本学においてその主要な部分が作成されたものであること
 - (3) 電子的フォーマットで作成されていること
 - (4) ネットワークを通じて配信できること

2009. 12. 17 兵庫県大学図書館協議会研究会

現状と問題点2

- 登録件数 1,939件(2009.12.01)
 - ・紀要掲載論文 1,920件
 - ・その他 19件
- アクセス件数
 - ・ダウンロード 約1万4千回(月)

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

現状と問題点3

- 管理運用体制
 - ・図書館のものではなく大学のもの
 - 研究推進社会連携機構の下に
 - 関西学院大学リポジトリ管理委員会
- システム
 - ・DSpace
 - ・外注により構築

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

現状と問題点4

- コンテンツ収集活動
 - ・学内紀要の発行元へ掲載物一括登録の働きかけ(現在22誌が手続)
 - ・教員個々へ研究業績データベースにあげられている成果物の登録の働きかけ
 - ・博士論文本体の登録を標準に(検討中)
 - ・講演会記録の登録を働きかけ

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

現状と問題点5

- 認知度が低い
- 登録件数がのびない
- コンテンツの大半が紀要掲載論文

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

アドバイス1

- 「産みの苦しみ(?)」
は(多少は)あったほうが
いいかも
- 構築前のバタバタが結果として認知度UPに寄与(?)

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

アドバイス2

- 大学の実情にあった管理運用体制
- 大学のもの か 図書館のものか

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会

アドバイス3

- システムにこらなくてもいい
コンテンツにこそ価値がある
- コミュニティやコレクション
の構成に悩んでもあまり意味
はない?

2009.12.17 兵庫県大学図書館協議会研究会